

～読書で心あたたまる時間を～

高学年に成長した息子と立ち寄った図書館で、なつかしい絵本を見つけました。それは、40年前、私が小学校1年生のときに国語の授業で教えてもらった『おじさんのかさ（作・絵／佐野洋子）』です。お気に入りの傘をととても大事にするおじさん。傘をぬらしたくないので、雨がふっても使いません。しかし、子どもたちの「あめが ふったら ポンポロロン」という歌を聞いているうちに、傘をさしてしまうというお話です。

「あめが ふったら ポンポロロン」「あめが ふったら ピッチャンチャン」何度も出てくるこの言葉に合わせて、私は、40年前のことを次々と思い出しました。雨の日はいつも学校から家までの遠い道のりを、友達と一緒にピチャピチャ音を鳴らしながら帰ったこと。縁側であみものをしている祖母の横で国語の音読練習をしたこと。農機具の修理をしている祖父に「おじちゃんの傘はどんな傘？」とおしゃべりをしたこと。坂道の続く通学路。縁側から見える港の景色。作業場のにおい。「おじさんのかさ」を読んでいた昔の記憶で、あたたかい気持ちになりました。

別のコーナーにいた息子も、いつのまにか私の隣に来て絵本を開いています。「昔読んだよね。なつかしいね」と優しい表情で声をかけてきました。私は、そんな息子の姿を見ていると、膝の上で読み聞かせをした幼いころの息子のぬくもりを思い出しました。そして、悩んだり笑ったりして駆け抜けてきたこの10年間の思い出と、確かに成長してくれている息子や、私を見守ってくれている家族への感謝の気持ちで心がいっぱいになりました。本は、自分を新しい世界に連れて行ってくれるだけでなく、なつかしい素敵な思い出や、自分の歩んできた時間を思い出させてくれるものだということが分かりました。今、校庭を流れる風が私たちを「秋」へと導いてくれています。秋は「〇〇の秋」と言われるように、いろいろなことを楽しみやすい季節です。よく耳にする「読書の秋」もその一つで、読書の似合う季節となりました。10月27日からは今年で78回を迎える「読書週間」が始まります。今年の「読書週間」はぜひ、昔なつかしい本を手にとり、心あたたまる時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。



一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 子ども相談センター ～子どもに関する相談の総合的な窓口～

月～土曜 9時～17時（国民の祝日・年末年始を除く）

電話相談・来室相談

☎0566-62-6313

・刈谷市 青少年電話相談 月～金曜 9時～17時

☎0566-23-8888

・愛知県 教育相談こころの電話 10時～22時

☎052-261-9671